

I Create Tomorrow “未来を創る” 笠間市の ICT 教育

【笠間市が目指す ICT 教育】

「情報活用能力」を育成し、「確かな学力」を身に付ける ICT 教育

※情報活用能力とは、学習活動において情報手段を適切に用いることのできる力であり、さらに、基本的な操作の習得、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力等も含むものである

【笠間市の 3 つの実践】

- プログラミング教育
- 遠隔教育
- 授業への積極的な ICT の導入

身に付けさせたい力

- 情報活用能力
- 確かな学力

○プログラミング教育

①教科指導の中でのプログラミング

【具体例】

- 5 年算数「正多角形をかこう」
正多角形をプログラムを使ってかく学習
- 6 年理科「センサーにより明りをつける」
プログラミングボード「Micro:bit」を使った電気回路の実験 等

②発展的な学習の中でのプログラミング

- 「スクラッチ」等を使ったプログラミング学習
- ロボットなどの教材 等

画像や動画を見せて共有し、分かり

やすく説明することができる



海外や学校同士をつないで

交流を図ることができる

○遠隔教育

【具体例】

①総合的な学習の時間

- まとめの時間に他校に向けて発表を行う。
市内だけでなく姉妹都市や他県の市町村、海外とも交流を図る。

②外国語活動・外国語

- 学校同士をつないで、児童同士と一緒に授業を行う。(小学校)
- 学校同士だけでなく、台湾など外国の学校ともつないで、生徒同士と一緒に授業を行う(中学校)

タブレットを使うことで、興味関心

をもって取り組むことができる

基礎的な能力

- ローマ字入力
- 基本的な操作
- 情報モラル



○授業への積極的な ICT の導入

①反転学習の推進

【いばらきオンラインスタディ等を活用した学習】

- 自宅では、動画などで学び、授業に先立って知識を習得したり、自分の考えをもったりする。そして、授業では、対話をとおして、学んだ知識を確認し、問題解決学習などの協働学習により、「知識を活用することで学ぶ」活動を行う。

②タブレットを使った授業の工夫

【主体的・対話的な学習】

- 自由に書き込み、自分の意見をまとめる。
 - 写真や動画の提示
 - グループ内で画面を提示しながら意見交換
 - 一人一人の意見を大型テレビで集約・提示 等
- 【体験活動や探求活動】

- 町探検で写真やインタビューを記録(生活科)
- 実験や野外活動での記録(理科)
- 運動場面を動画で撮影・振り返り(体育)等

③特別支援教育での ICT 機器の積極的活用

- 障害に応じた学習支援
- 文字や教材を拡大表示、音声での読み上げ 等

④e ラーニング

- 朝自習や休み時間、放課後の個別学習
- 授業の補充や発展的な学習
- 家庭での自主学習
- 教室支援室等での活用 等